

キラットさん



大館桂高校 2年

佐々木 祐子さん

佐々木さんは、このほど行われた東北高校インドアソフトテニス大会(室内大会)で見事に県勢最高の三位に入ったペアの一人です。彼女のポジションは後衛。前衛に一年生の釜谷祥子さんと組んでこの成績でした。

佐々木さんが釜谷さんとペアを組んだのは昨年の七月から。新しくペアを組んでからの成績は、組んだ直後に出場した県体でベスト16、九月の全県新人戦でベスト8、今回の大会の予選となった、一月の全県インドア大会では準優勝と、試合を重ねるごとに成績を上げてきました。

このようにどんどん成績が上がってきた理由は「最初は個人プレーが多かったのですが、段々と息が合うようになり、信頼関係が

できてきたから」と。また「先生やコーチなど、テニスに打ち込める環境に恵まれていることも一因です」とも話してくれました。

彼女がテニスを始めたきっかけというのは小学生のときにありました。彼女の家は転勤族で、小学校四年生のときに京都に住んでいたそうです。「通っていた小学校にテニスの部活があったので、入ってみました。やってみたら楽しかった」というのがテニスとの出会いです。その後また転勤で、一時テニスから遠ざかったのですが、中学校に入学するときに再び大館に戻ってきました。中学校では迷わずテニス部に入学したそうです。

最後に、これまでで印象に残る試合を尋ねてみました。それは、昨年の高校総体での増田高校戦。

「この試合で初めてテニスを楽しみなができませんでした」と。それまではテニスが好きなんだけど、楽しいという気分を味わったことがなかったといいます。先輩とペアを組んでいたこともあり、緊張感や迷惑を掛けてはいけないということから、楽しむことを忘れていたのだそうです。でも、この試合は「先輩と息が合い、楽しみながらできた試合なんです」と、笑顔で楽しそうに話してくれました。彼女は今年二年生。高校生活最後になる今年の目標は、インターハイへの出場。目標達成はすぐ目の前にあるように感じました。

私の本棚

中央図書館新着図書



『日本少国民文庫世界名作選』

山本 有三編
新潮社

テレビ放映された「皇后陛下美智子さま・子供時代の読書の思い出」のなかで紹介され、話題となった、皇后陛下ご幼少時の愛読書が復刊されました。子供も大人も楽しめる、永遠の名作児童文学が今ここによみがえります。

一般書

- ◆クラッシュ(楡周平) ◆雪が降る(藤原伊織) ◆他力(五木寛之)
- ◆夜明けを待ちながら(五木寛之) ◆憧れのまほうつかい(さくらももこ)
- ◆約束された場所で(村上春樹) ◆悪魔と手を組め(ジャック・ヒギンズ)
- ◆ワイン一杯だけの真実(村上龍) ◆グランドファイザー(トム・ブラウン・ジュニア) ◆修羅のひつぎ(A・R・シドンス)
- ◆春美と寂聴のすべて(瀬戸内寂聴) ◆聖書女たちの物語(田中澄江)
- ◆魔術師の妻(ブライアン・ムーア) ◆三島由紀夫と死(ヘンリー・スコット・ストークス)
- ◆オウムと私(林郁夫) ◆リンボウ先生デ IPP・イングリランドに行く(林望) ◆バリ食いしんぼう留学記(塚本有紀)
- ◆南吉童話の散歩道(小野敬子) ◆野球人(落合博満) ◆法華経を生きた(石原慎太郎)
- ◆映画が生まれる瞬間(梅本洋一) ◆子どもたちはなぜ暴力に走るのか(芹沢俊介) ◆東北謎とき散歩(星亮一)
- ◆全国保存鉄道(白川淳) ◆手づくりの和菓子(伊藤玲子) ◆アイデアいっぱい簡単・便利な介護服(栗田佐穂子) ほか

児童書

- ◆プカプカチヨコレイト島(原ゆたか) ◆ぶためきくん(斎藤洋)
- ◆カエルの城(ヨースタイン・ゴドル)
- ◆ふき(斎藤隆介)
- ◆こりら先生(岸川悦子) ◆時をこえた約束(杉本りえ) ◆なぞなぞのたび(石津ちひろ) ◆なつこのなつみかん(いずみけいこ) ◆キツネのまいもん屋(富安陽子) ◆アンネと会った旅(大谷美和子) ほか

- ◆3月のテーマ関連図書コーナー
- ◆3月の親子読みかせ会
- ◆3月の中央図書館の休館日

5日(毎月第1金曜日) 14時30分から
21日、22日、25日 環境問題